

サロンでのサステナビリティ

『生物多様性』について 学んでみよう

私たち人間の活動の影響によって生きものたちの絶滅のスピードは自然の速度の約1000倍になっていると言われています。

私たち人間も生きものであり、他のたくさんの生きものと一緒に、支えられています。

生物多様性のめぐみを受けて、はじめて私たちは暮らしていくことができるのです。

生物多様性のためにできることを考え、身近なところから行動しましょう。

[見る・知る・行動する、生物多様性 | 生物多様性 -Biodiversity- \(biodic.go.jp\)](https://www.biodic.go.jp/biodiversity/)

* 環境省

<https://www.biodic.go.jp/biodiversity/about/sokyu/index.html>



生物多様性とは？

生物多様性とは、生きものたちの豊かな個性とつながりのこと。地球上の生きものは40億年という長い歴史の中で、さまざまな環境に適応して進化し、3,000万種ともいわれる多様な生きものが生まれました。これらの生命は一つひとつに個性があり、全て直接的・間接的につながり、支えあって生きています。生物多様性条約では、生態系の多様性・種の多様性・遺伝子の多様性という3つのレベルで多様性があるととしています。

- 生態系の多様性…森林、里地里山、河川、干潟、サンゴ礁等いろいろなタイプの自然があります。
- 種の多様性…動植物から細菌などの微生物にいたるまで、いろいろな生き物がいます。
- 遺伝子の多様性…同じ種でもことなる遺伝子を持つことにより、形や模様、生態などに多様な個性があります。



[生物多様性とはなにか | 生物多様性 -Biodiversity- \(biodic.go.jp\)](https://www.biodic.go.jp/biodiversity/about/about.html)

* 環境省

<https://www.biodic.go.jp/biodiversity/about/about.html>

生物多様性のめぐみ

私たちの暮らしは、食料や水、気候の安定など、多様な生物が関わりあう生態系からの恵み（生態系サービス）によって支えられています。

●生き物が生み出す大気と水（基盤サービス）

植物が酸素を生み、森林が水循環のバランスを整える等、生命の生存基盤は多くの生きものの営みによって支えられています。

- * 酸素の供給
- * 気温、湿度の調節
- * 水や栄養塩の循環
- * 豊かな土壌

●暮らしの基礎（供給サービス）

毎日の食卓を彩る野菜などの食料はもちろん、新聞や本などの紙製品や医療品など、生きものの遺伝的な情報、機能や形態も私たちの生活の中で利用されています。

- * 食べ物
- * 木材
- * 医薬品
- * 品種改良
- * バイオミミクリー（生物模倣）



[生物多様性のめぐみ | 生物多様性 -Biodiversity- \(biodic.go.jp\)](https://www.biodic.go.jp/biodiversity/)

* 環境省
https://www.biodic.go.jp/biodiversity/about/biodiv_service.html

生物多様性のめぐみ

●文化の多様性を支える（文化的サービス）

海に囲まれ、南北に長い国土と季節の変化に富む日本では、地域ごとに異なる自然と一体になって地域色豊ら伝統文化が育まれてきました。

- * 地域性豊かな文化
- * 自然と共生してきた知恵と伝統

●自然に守られる私たちの暮らし（調整サービス）

豊かな森林や河川の保全は安全な水の確保や、山地災害の軽減、土壌流出防止など、私たちが安心して暮らせる環境の確保につながります。

- * マングローブやサンゴ礁による津波の軽減
- * 山地災害、土壌流出の軽減



[生物多様性のめぐみ | 生物多様性 -Biodiversity- \(biodic.go.jp\)](https://www.biodic.go.jp/biodiversity/)

* 環境省
https://www.biodic.go.jp/biodiversity/about/biodiv_service.html

人間の活動による生物多様性の危機

私たち人間の活動により、世界の森林が2000年から2010年の間に、平均で毎年520万ヘクタール（九州と四国を足した面積程度）消失しています。またサンゴ礁は19%が既に失われ、さらに今後10年から20年の間に15%が失われる可能性があります。この結果は、私たちは、生きものたちの絶滅スピードを1,000倍に加速させています。



[人間の活動による生物多様性の危機 | 生物多様性 -Biodiversity- \(biodic.go.jp\)](https://www.biodic.go.jp/biodiversity/)

* 環境省

<https://www.biodic.go.jp/biodiversity/about/sokyu/sokyu04.html>

生物多様性の「4つの危機」

私たちにさまざまな恩恵をもたらす生物多様性ですが、それらが失われつつある原因は主に人間活動によるものとされています。生物多様性を失う原因や、その影響のタイプによって、4つに整理されたものが、生物多様性の「4つの危機」です。

第1の危機

開発や乱獲による種の減少・絶滅、生息・生育地の減少

鑑賞や商業利用のための乱獲・過剰な採取や埋め立てなどの開発によって生息環境を悪化・破壊するなど、人間活動が自然に与える影響は多大です。



第2の危機

里地里山などの手入れ不足による自然の質の低下

二次林や採草地が利用されなくなったことで生態系のバランスが崩れ、里地里山の動植物が絶滅の危機にさらされています。また、シカやイノシシなどの個体数増加も地域の生態系に大きな影響を与えています。



[生物多様性に迫る危機 | 生物多様性 -Biodiversity- \(biodic.go.jp\)](https://www.biodic.go.jp/biodiversity/)

* 環境省

https://www.biodic.go.jp/biodiversity/about/biodiv_crisis.html

生物多様性の「4つの危機」

第3の危機

外来種などの持ち込みによる生態系のかく乱

外来種が在来種を捕食したり、生息場所を奪ったり、交雑して遺伝的な攪乱をもたらしたりしています。また、化学物質の中には動植物への毒性をもつものがあり、それらが生態系に影響を与えています。

第4の危機

地球環境の変化による危機

地球温暖化は国境を越えた大きな課題です。平均気温が1.5~2.5度上がると、氷が溶け出す時期が早まったり、高山帯が縮小されたり、海面温度が上昇したりすることによって、動植物の20~30%は絶滅のリスクが高まるといわれています。



[生物多様性に迫る危機 | 生物多様性 -Biodiversity- \(biodic.go.jp\)](https://www.biodic.go.jp/biodiversity/)

* 環境省

https://www.biodic.go.jp/biodiversity/about/biodiv_crisis.html

生物多様性の崩壊

近年、絶滅の危機にある「絶滅危惧種」の数は、驚きのスピードで増加しています。

ICUN（国際自然保護連合）の絶滅の危機に瀕している世界の野生生物のリスト「レッドリスト」には、2022年現在、42,100種以上の生物に絶滅の危惧があります。

さらに、調査で確認されたすべての生きものの27%が絶滅危惧種に指定されています。

42,100種以上の生物に絶滅の危惧がある。

全評価種の27%以上に相当する。



[IUCN Red List of Threatened Species](https://www.iucnredlist.org/ja)

<https://www.iucnredlist.org/ja>

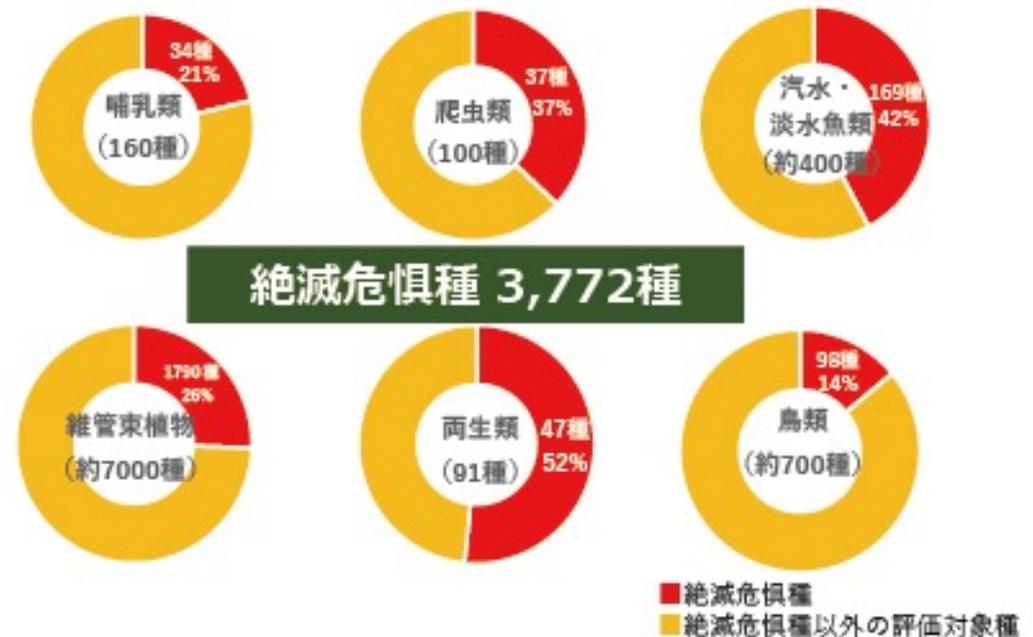
絶滅のおそれのある日本の野生生物

4つの危機を受けて、日本の野生動植物の約3割が絶滅の危機に瀕しています。

「いのち」と「暮らし」を支える生物多様性を私たちは、自らの手で危機的な状況に陥らせています。

すべてのかけがえのないいのちを守り、その恵みを受け続けていけるように、今、行動することが必要なのです。

環境省レッドリスト2020及び海洋生物レッドリストで評価した日本の野生動植物のうちの絶滅危惧種の割合 ※グラフは一部の分類群



[生物多様性に迫る危機 | 生物多様性 -Biodiversity- \(biodic.go.jp\)](https://www.biodic.go.jp/biodiversity/)

* 環境省

https://www.biodic.go.jp/biodiversity/about/biodiv_crisis.html

自然と共生する世界の実現に向けて

地球規模で生物多様性の損失と劣化が進み、取り返しのつかない事態を招くおそれがあるとの危機感の中、2010年に愛知県名古屋市で生物多様性条約第10回締約国会議

(COP10)が開かれ、2011年以降の世界目標である愛知目標が採択されました。

私たちの将来の世代のためにも、生物多様性を守り、持続的に利用していく責任があります。



[自然と共生する世界の実現に向けて | 生物多様性 -Biodiversity- \(biodic.go.jp\)](http://www.biodic.go.jp/biodiversity/)

* 環境省
<https://www.biodic.go.jp/biodiversity/about/sokyu/sokyu05.html>

生物多様性を守るため私たちにできること

生物多様性が、私たちの日常の暮らしと密接に関わっていることを知っていますか？

一人ひとりが生物多様性との関わりを日常の暮らしの中でとらえ、実感し、身近なところから行動することが、生物多様性を守るための第一歩です。

生物多様性の恵みを受け続けられるように、次の5つの中からできることを選んで、あなたの「MY行動宣言」として宣言し、今日から生物多様性を守るために行動しましょう！



Act 1

じもと た
地元でとれたものを食べ、
しゆん あじ
旬のものを**味わ**います。



Act 2

しぜん なか で どうぶつえん すいぞくかん しょくぶつえん
自然の中へ出かけ、動物園、水族館や植物園
たず しぜん い
などを訪ね、自然や生きものに**ふれ**ます。



Act 3

しぜん すば きせつ うつ かん
自然の素晴らしさや季節の移ろいを感じて、
しゃしん え ぶんしょう つた
写真や絵、文章などで**伝**えます。



Act 4

い しぜん ひと ぶんか
生きものや自然、人や文化との「つながり」を
まも ちいき ぜんこく かつどう さんか
守るため、地域や全国の活動に**参**加します。



Act 5

つ かんきょう やさ
エコラベルなどが付いた環境に優しい
しょうひん えら か
商品を選んで**買**います。

[生物多様性のために私たちができること | 生物多様性 -Biodiversity- \(biodic.go.jp\)](https://www.biodic.go.jp/biodiversity/)

* 環境省

<https://www.biodic.go.jp/biodiversity/about/sokyu/sokyu06.html>